ダイコンは大きな根？(2)

稲垣 栄洋

次の表は、教科書本文の内容をまとめたものである。

区分	段落	内容
導入	1	野菜は植物なので、根・葉・茎・花・実などの器官からできている。 ・例 キャベツ、レタス…葉　トマト、ナス…実
ダイコンの白い部分はどの器官か	2	**問い** ダイコンの白い部分はどの器官か。
	3	・カイワレダイコン（ダイコンの芽） 双葉・胚軸（茎）・根（主根＋側根）から成る。
	4	比較 ・ダイコン 上のほう…胚軸が太ったもの。 下のほう…主根が太ったもの。 比較 **答え** ダイコンの白い部分は、胚軸と根の二つの器官。
二つの器官はなぜ味が違うか	5	**問い** 二つの器官（胚軸と根）はなぜ味が違うか。
	6	**答え（胚軸）** 胚軸は、根で吸収した水分を葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る。 → 胚軸は水分が多く、あまみがある。
	7	根は、下にいくほど辛みが増す。ここには植物の知恵がかくされている。
	8	**答え（根）** 根には葉で作られた栄養分が運ばれる。栄養分は花を咲かせる時期に使う大切なものなので、虫の害から守るために辛み成分を蓄えている。 → 根は下にいくほど辛い。
	9	ダイコンの味の違いを活用した調理
まとめ	10	**まとめ** ダイコンの白い部分は異なる器官から成り、器官の働きによって味が違う。 野菜を植物として観察すると、興味深い発見があり、野菜の新しい魅力が見えてくる。

（1～10は教科書本文における形式段落番号を表します）

段落

文章を内容で区切ったまとまりを**段落**という。段落の役割に注目すると、文章の内容がとらえやすくなる。

・段落の役割の例
導入、話題提示、具体例、理由、まとめ、主張

一字下げて区切られたまとまりを**形式段落**といい、形式段落をさらに内容ごとにまとめたものを**意味段落**ということもある。

確認テスト　教科書本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 次の説明に合う形式段落を、それぞれ段落番号で答えなさい。

① 毎日食べる野菜の器官に注目させ、これから説明する内容の導入となっている。
② ダイコンの白い部分はどの器官なのかという問いを投げかけている。
③ なぜダイコンの胚軸と根の部分は味が違うのかという問いを投げかけている。
④ これまでの説明をまとめ、野菜に対する新たな見方を呼びかけている。

①〔　　〕②〔　　〕③〔　　〕④〔　　〕

(2) 「ダイコンの白い部分はどの器官か」という問いに対する答えとなるように、（　　）に入る言葉をそれぞれ選びなさい。

ダイコンの白い部分は、上は（ ① ）が、下は（ ② ）が太ったもので、二つの器官から成っている。

ア 芽　**イ** 双葉　**ウ** 胚軸　**エ** 主根　**オ** 側根

①〔　　〕②〔　　〕

(3) 「ダイコンの二つの器官はなぜ味が違うか」という問いに対する答えとなるように、（　　）に入る言葉をそれぞれ選びなさい。

ダイコンの胚軸の部分は、根で吸収した水分を葉に送り、葉で作られた糖分などの（ ① ）を根に送る役割があるため、水分が多く、（ ② ）がある。いっぽう、根の部分は、花を咲かせるための（①）を虫の害から守るために（ ③ ）成分を蓄えており、下にいくほど（③）が増す。

ア あまみ　**イ** 辛み　**ウ** 栄養分　**エ** 細胞（さいぼう）

①〔　　〕②〔　　〕③〔　　〕

(4) 辛みの少ない大根下ろしを作るときにはどうすればよいか。適当なものを二つ選びなさい。

ア ダイコンの上のほうを使う。
イ ダイコンの下のほうを使う。
ウ ダイコンを直線的に力強く下ろす。
エ ダイコンを円を描くようにやさしく下ろす。

〔　　・　　〕